

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 152 号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2015 年 6 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

27 年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力して)	樹林公園
7 月	24 日(金)和光の宝・白子湧水群の保全ボランティア体験会(県申請事業)	3 日(金)七夕用竹伐り 18 日(土)定期保全	11 日(土)モニ 1000 15 日(水)保全	28 日(日)ボランティア体験会
8 月	4 日(火)教員研修会 白子湧水群巡検と講義	15 日(土)定期保全 ボランティア体験	2 日(日)モニ 1000 19 日(水)保全	松保護区・ドングリの森保全

1. お茶の水女子大学の「和光の地理学巡検」

25 年度に続き、27 年度准教授長谷川直子先生と当会と協働で、都市部にある特徴的な湧水環境と歴史のある和光巡検を行いました。今年のコースは成増駅から川越街道を下り、和光市の白子湧水群の自然と歴史を巡検し、白子川沿いのグリーンベルト地帯を通り成増へもどるコースです。途中、白子コミセンで昼食、午後は 1 時間高橋勝緒さんが「和光の湧水環境調査」について講義を行いました。また今回は、東京大学准教授早川先生との共同研究で、ウェブを利用した巡検学習も組み込まれました。現地を回りながらツイッターを利用して巡検内容の意見や感想をその都度アップする事業です。この成果が得られたら、地理学会などで発表をすることになるとのことです。充実した企画で、長谷川先生、早川先生、参加者 21 名、会から 8 名が協力しました。天候にも恵まれ午前 10 時～午後 4 時まで一日コースで、行く先々写真やツイッターでの投稿あり、ユニークな試みでした。電車での帰宅の際に、地下鉄成増駅から和光市駅間の車窓から、白子川とグリーンベルト地帯の見学も行ったとのことです。

コース紹介 成増駅—新田坂(石造群)—白子橋—地福寺—富澤湧水(地層見学、湧水利用)—熊野神社(富士講と白子富士)—コミセン(昼食)、講義(和光の湧水環境調査の活用と保全)、ムクロジストラップのお土産配布—大坂ふれあいの森—白子の滝—成増駅—帰宅(車窓より白子川と斜面林)



成増集合
 新田坂石造群
 白子川から湧水を見る



斜面の湧水の仕組みを見る
 ツイッターで送信
 熊野神社の富士は鳥居から



和光の自然と保全の講義
 大坂ふれあいの森の見学
 白子の滝